

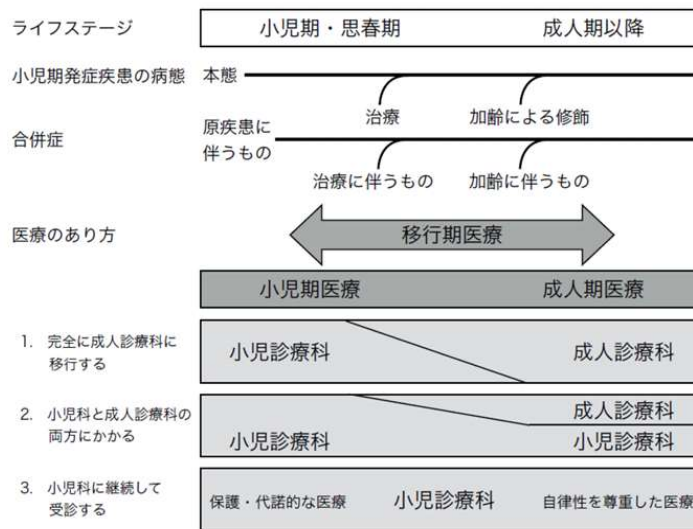
## 子どもから大人への移行

### 知っておこう！移行期医療

子どもから大人へ成長することで、病気も「おとなの病気」に変わっていきます。小児期発症疾患についても成長・加齢に合わせた対応が必要となったり、生活習慣病などの大人に多い病気への対応が必要となる可能性もあります。また、ご本人が一人で受診をしたり、治療のことを決めたりすることが必要になる方もいます。

成長に伴い、「こども」のための医療から「おとな」を対象とした医療に、切れ目なく切り替えられるようにすることを、移行期医療といいます。

移行にはいくつかのパターンがあり、ご本人にあった方法で進めていく必要があります。



### 《確認・準備しておきたいこと》

- 「おとな」になると、受診する医療機関や診療科が変わることを知っておく
- 移行期医療について、「いつ」から、「どんな」準備が必要か、主治医に相談しておく
- かかりつけ医をもつ
- 病気や治療について、本人が知っておいた方がよいことを確認する
- 将来のこと、「おとな」になってからのことをイメージしておく
- 困ったときに相談できる場所を知っておく

ひとりで考えたり、準備するものではありません。

主治医をはじめ、支援者と相談しながらすすみましょう。